

指定管理者最終総合評価

江戸川区立福祉作業所			
評価項目		評価理由	
1	施設運営に関する事務	新型コロナウイルスの影響により、受注機会の減少が懸念される中、新たな取組として、防災用品あっせん事業を開始するなど、利用者の工賃向上に努めている。また、省エネを励行し、経費節減にも努め、適切な運営がなされていると言える。地域の行事等にも積極的に参加し、地域からの信頼も厚い。	
2	利用者サービスに関する事務	毎年施設が行う利用者アンケートの評価も高い。利用者の作業訓練においては、快適な作業環境を整え、自主生産品の質の向上を図っている。さらに人気の高いベリーサイズのドーナツの販売も好調であり、就労継続の意欲に努めている。	
3	施設の維持管理に関する事務	老朽化した建物（本館 1970 年、分室 1973 年）となるが、整備に尽力し、快適な環境を維持している。	
4	当初提案の計画に対する目標の達成	全体経費において、計画的な予算措置を行い、歳出削減につなげている。特に自主生産部門において、原材料の抑制、計画的な購入を行い、経費節減に努めている。	
5	当初提案の計画に対する目標の達成	概ね達成されていた。	
評価点		配 点	得 点
		120	107
得点率		89%	
総合評価	【講評】		
B	利用者の高齢化、多様化が進んでいるが、困難なケースにもしっかりと対応している。日常支援においても、作業種目のメニュー増や、自主生産品の販路の拡大を通し、誰もが働く喜びを感じられる施設運営がなされている。特に、新たに取り組む防災用品のあっせん事業については、さらなる利用者の工賃の向上が見込まれ、当施設事業にとどまらず、区内就労支援事業所が共同して事業展開していく構想もあり、障害者の自立生活に向けた取り組みとして期待できる。		

総合評価の基準（得点率）

A：90%以上、B：70%以上 90%未満、C：50%以上 70%未満、D：40%以上 50%未満、E：40%未満